

事業評価票

90	家庭におけるエネルギー利用の高度化促進事業 (環境局地球環境エネルギー部/一般会計)	事業開始	平成 28 年度
		事業終了予定	平成 31 年度

【局評価】

1	どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか
<p>○ 都内のエネルギー消費量の約3割を家庭部門が占めているが、他の部門に比べてエネルギー消費量の削減幅が小さい。</p> <p>○ そこで、平成25年度から家庭におけるエネルギー利用の効率化・最適化を推進する機器の普及を促進するため、家庭の創エネ・エネルギーマネジメント促進事業を実施した。</p>	
根拠法令等	

2	どのように取り組み、どのような成果があったか
<p>○ 「家庭の創エネ・エネルギーマネジメント促進事業」では、HEMS導入を条件とし、蓄電池、燃料電池、ビークルトゥホームの導入費用について補助を行った。事業の結果、家庭用燃料電池の価格は、機器販売開始時から半減するなど機器価格の低下により普及が一定程度進んだ。</p>	

3	どのような課題や問題点があったか
<p>○ エネルギーマネジメントに資する機器（蓄電池、家庭用燃料電池等）の導入経費は一定の価格低下が進んだが、依然、高額であるため家庭への普及が進んでいない。</p> <p>○ また、蓄電池についても電力の固定価格買取制度による買取価格低下を見据え、太陽光発電による電力の自家消費を促す必要から一層の価格低下を促す必要がある。以上のとおり、各機器の市場の自立的な普及が進むためには、更なる価格低下が必要である。</p>	

4	局として、事業をどうしていきたいか						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">拡大・充実</td> <td style="width: 25%; border: 2px solid black;">見直し・再構築</td> <td style="width: 25%;">移管・終了</td> <td style="width: 25%;">その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他				
<p>○ 上記の課題を解決していくために「家庭の創エネ・エネルギーマネジメント促進事業」における補助対象機器や補助額について、機器の普及状況を踏まえ見直しを行い、引き続き導入補助を実施することで、更なる機器の普及を図り、家庭のエネルギー消費量削減と非常時の自立性向上を目指す。</p>							
歳入	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">26年度決算額</td> <td style="width: 50%;">— 千円</td> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>— 千円</td> </tr> <tr> <td>28年度見積額</td> <td>— 千円</td> </tr> </table>	26年度決算額	— 千円	27年度予算額	— 千円	28年度見積額	— 千円
26年度決算額	— 千円						
27年度予算額	— 千円						
28年度見積額	— 千円						
歳出	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">26年度決算額</td> <td style="width: 50%;">— 千円</td> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>— 千円</td> </tr> <tr> <td>28年度見積額</td> <td>4,046,882 千円</td> </tr> </table>	26年度決算額	— 千円	27年度予算額	— 千円	28年度見積額	4,046,882 千円
26年度決算額	— 千円						
27年度予算額	— 千円						
28年度見積額	4,046,882 千円						

【財務局評価】

5	財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか
<p>○ 家庭部門のエネルギー利用の効率化・最適化を進めるためには、機器の価格低下を図り、家庭への家庭用燃料電池等の普及を促進することが重要である。</p> <p>○ そのため、これまでの補助内容を見直しを行い、機器の導入補助を実施することの必要性は認められる。</p>	

6	28年度予算で、どのように対応したか				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">拡大・充実</td> <td style="width: 25%; border: 2px solid black;">見直し・再構築</td> <td style="width: 25%;">移管・終了</td> <td style="width: 25%;">その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
<p>○ 経費の一部精査した上で、所要額を計上する。</p>					
歳入	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">28年度予算額</td> <td style="width: 40%;">— 千円</td> </tr> </table>	28年度予算額	— 千円		
28年度予算額	— 千円				
歳出	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">28年度予算額</td> <td style="width: 40%;">3,616,882 千円</td> </tr> </table>	28年度予算額	3,616,882 千円		
28年度予算額	3,616,882 千円				